

救急医学科に通院中の患者さん(又は通院歴のある方)へ（臨床研究に関する情報）

本院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療後の診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学附属病院研究倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 敗血症に伴う播種性血管内凝固症候群(DIC)におけるアンチトロンビン(AT)補充によるAT活性と予後の検討

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院救急医学科 病院助教 大石 峻裕

《研究の目的》 AT 補充後の AT 活性の各時点での比較および 70%以上の到達が予後と関連するかを明確にする

《研究期間》 研究機関の長の許可日～2026年12月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

関西医科大学附属病院高度救命救急センターに2015年1月1日から2024年12月31日までに敗血症DICの診断でAT製剤を投与された18歳以上の方。

●研究に用いる情報の種類

- 1) 臨床所見（年齢、性別、意識レベル、脈拍、血圧、人工呼吸器管理の有無、持続的血液濾過透析の有無、昇圧剤投与の有無、ICU滞在・入院期間）
- 2) 血液所見（Plt、PT-INR、Dダイマー、ATⅢ活性、フィブリノゲン、Cre、T-Bil、pH、乳酸、PCT、CRP）
- 3) 予後（28日・退院時生存）

《情報の利用又は提供を開始する予定日》

2025年12月01日

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報等は、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

* 上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

研究責任者 関西医科大学附属病院救急医学科・病院助教 氏名 大石 峻裕

〒573-1191 大阪府枚方市新町2-3-1

TEL : 072-804-0101 (代表) (PHS : 57649)